

① ヤングケアラー支援

私たち一般市民が該当する子どもを把握し、支援につなげる方法など教えてください。学校ではどのような対応をすることになりますか。

当事者やその家庭には、どのような支援をしていくのでしょうか。

子どもや保護者、学校、地域へこの支援制度をどのように知らせるのでしょうか。

② 不登校対策についてについて

出席扱いになるフリースクールや支援センターへの家からの距離や通学費用が問題となる家庭もあるのでは？

支援学級在籍、通級で支援を受ける子どもの不登校ケースはどのくらいありますか？

教室に入れない子どもが過ごせる場所を設置している学校はありますか？

教育支援センター、フリースクールのハードルが高い(?)という印象が保護者・子どもにあるのではないのでしょうか

教育支援センターが不登校の児童生徒や保護者に対して学校復帰だけを目標としているのではと心配しています。安心できる居場所や進路の不安に応えるサポートがセンターの役割ではないかと考えます。

③ 義務教育の保護者負担軽減

15%ほどの児童生徒の給食費が支援されていますが、申請せずにすべてのこどもに無償で給食が届くことを国、自治体でとりこんでいただきたい。

④ 部活動の民間移行

保護者や子ども不安として、部活動のために校区外まで通うこと、部費がいままで以上にかかることがあげられます。部活を楽しみにしていた子どもがこれまで通りに放課後を過ごせなくなることをないように考えていただきたい。

⑤ 苫小牧市内の小児科の病院の減少で、診療が困難になっている現状があります。何か手だてはありませんか。